



2019年3月期（第43期）

決算説明会資料

2019年5月31日

株式会社フォーカスシステムズ

（証券コード：4662）

- 1 2019/3期（第43期）決算について P.3
- 2 2020/3期（第44期）
トップメッセージと業績予想 P.22
- 3 <ご参考> トピックス P.25
- 4 <ご参考> 当社の概要 P.33

1

2019/3期（第43期）決算について

決算

- ✓ 売上高・各利益ともに過去最高を更新
- ✓ 増配（16円 ⇒ 20円）、配当性向向上（31.2% ⇒ 34.4%）

事業

- ✓ 新規ビジネスの推進
⇒ ドローン／新会社設立（VR・AI・ブロックチェーン）／RPA／
NoSQLデータベース／三次電池）
- ✓ 既存ビジネスの拡大・利益率の改善

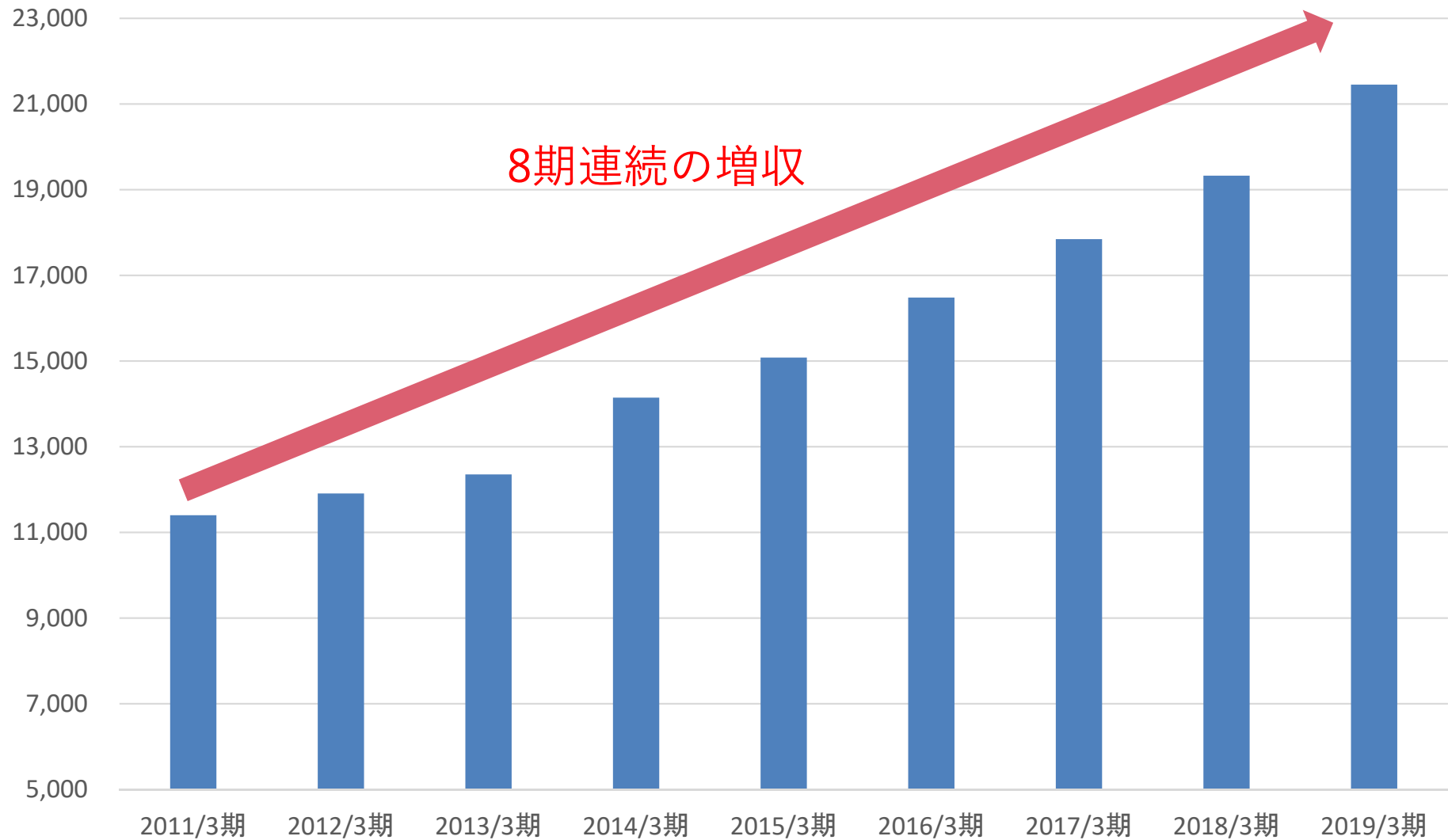
- ✓ 人手不足の事業環境下、戦略的な人材確保及び案件獲得により増収
- ✓ 請負案件の増加やプロジェクト管理の徹底を図り増益

(単位:百万円)

| | 2018/3期 実績 | 2019/3期 計画 (上方修正前) | 2019/3期 実績 | 前期比 | | 計画比 | |
|------|---------------|--------------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | 増減額 | 増減率 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 19,327 | 20,000 | 21,453 | 2,126 | 11.0% | 1,453 | 7.3% |
| 営業利益 | 1,025 | 1,080 | 1,368 | 342 | 33.4% | 288 | 26.7% |
| 経常利益 | 1,019 | 1,060 | 1,375 | 356 | 34.9% | 315 | 29.8% |
| 純利益 | 719 | 700 | 874 | 155 | 21.6% | 174 | 24.9% |

(単位:百万円)

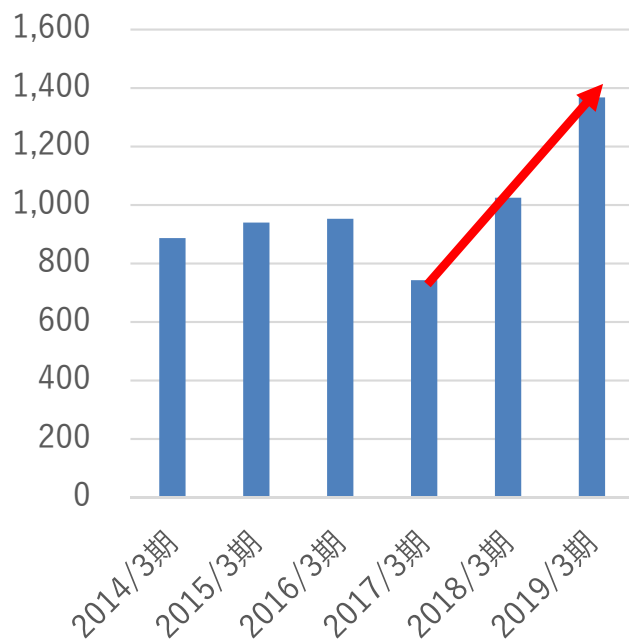
2020/3期 予想 218億円



- ✓ 利益率向上を図った結果、各利益において、2年連続で大幅増益を達成
- ✓ 5年前と比較し、純利益額は約2倍に

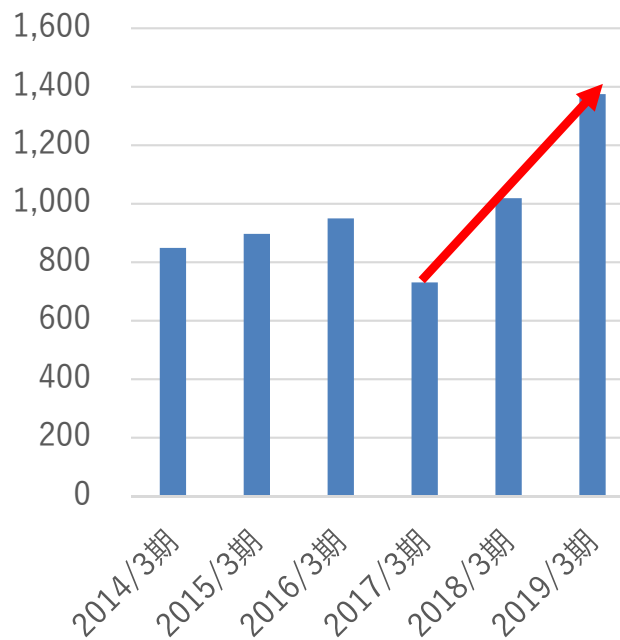
営業利益

(単位：百万円)



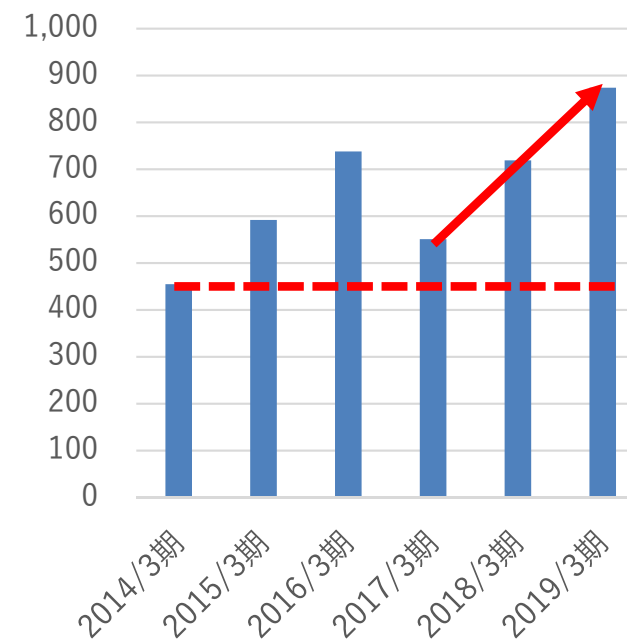
経常利益

(単位：百万円)



純利益

(単位：百万円)



(単位:千円)

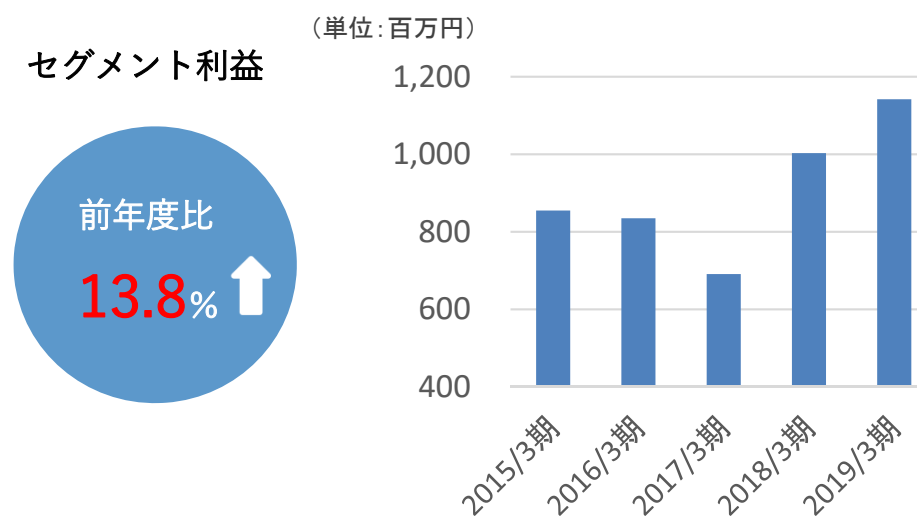
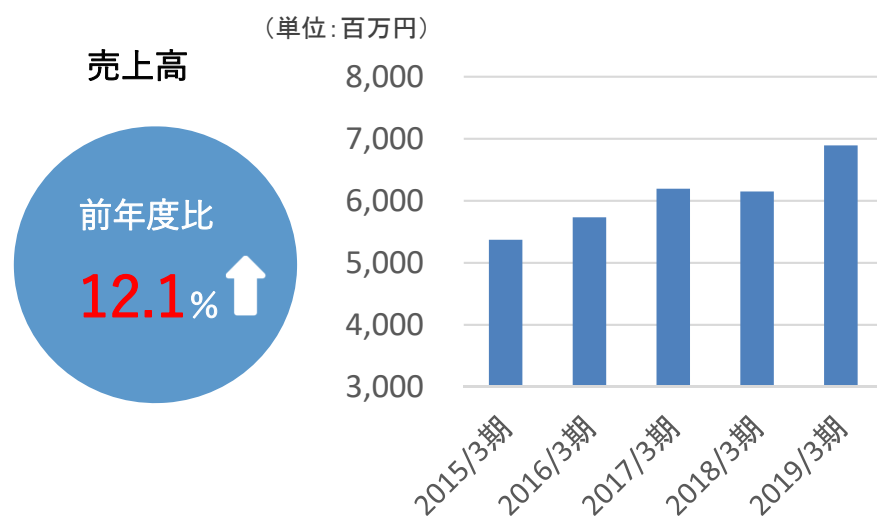
| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 財務諸表 計上額 (注) 2 |
|---------|-----------|------------|------------------|------------|--------------|----------------------|
| | 公共関連事業 | 民間関連事業 | セキュリティ 機器関連事業 | | | |
| 売上高 | 6,893,502 | 13,300,439 | 1,259,887 | 21,453,829 | — | 21,453,829 |
| 売上高構成比 | 32.1% | 62.0% | 5.9% | 100% | — | — |
| セグメント利益 | 1,142,003 | 1,540,047 | 316,087 | 2,998,138 | △1,629,854 | 1,368,284 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,629,854千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費（全社費用）です。

2 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

公共関連事業

最終ユーザーは官公庁及び地方自治体。
 提案から設計、製造、試験、システム稼働後の保守・運用まで行っている。
 財務システム、貿易システム、航空管制システム、福祉介護システム、社会保険システム等
 さまざまなシーンで社会を支えている。

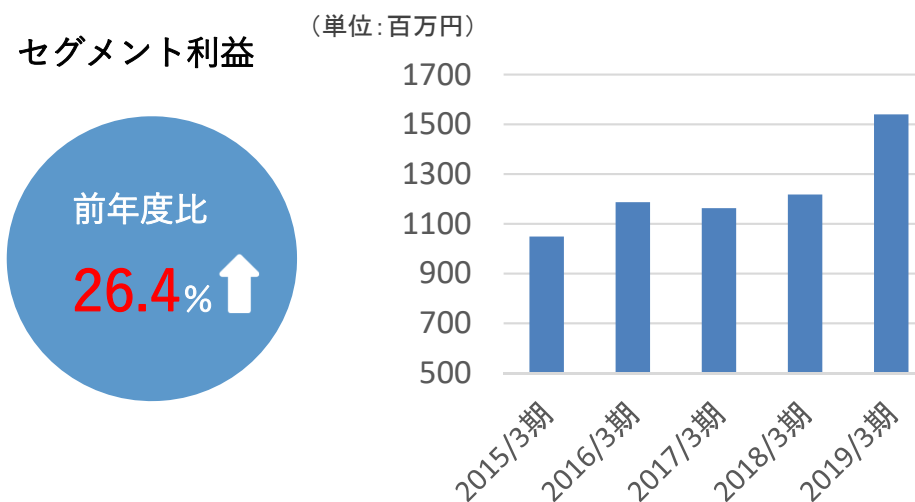
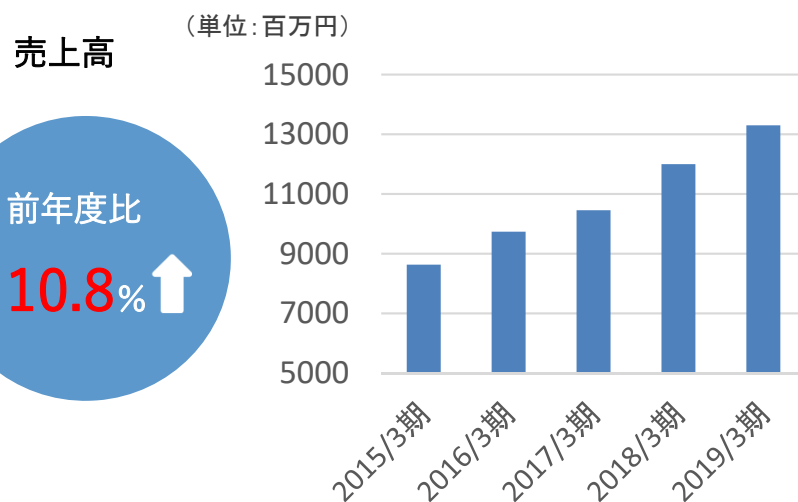


- ✓ システムの要件定義や基本設計等、上流工程から参画出来る案件が増加
- ✓ 「案件の選択と集中」「積極的な人材確保」「プロジェクト管理の徹底」これらの取組みにより、売上・利益ともに好調に推移

民間関連事業

最終ユーザーは主に民間企業。

日本IBM様を始めとし、沖電気様、ソフトバンク様、TISインテック様等とのパートナーシップの下、さまざまな民間企業向けシステムの開発や基盤構築から運用保守まで行っている。
業務アプリケーション、通信制御システム、IoT、AI等、携わるシステムは多岐にわたる。



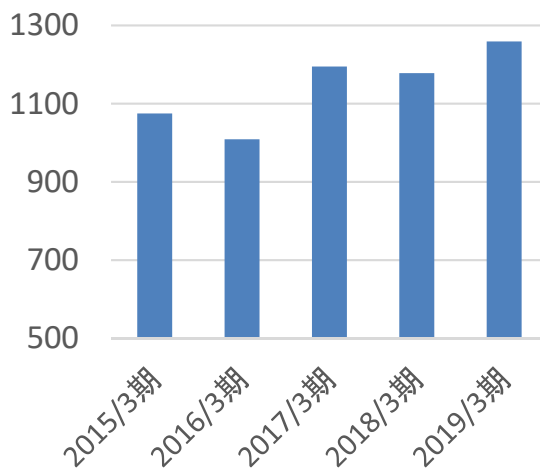
- ✓ 人手不足の問題は依然として続いているが、リソースの有効活用や人材確保に注力し、IT投資需要の高まりを追い風に成長基調を維持
- ✓ 営業強化による新規案件の獲得、請負案件・直請け案件の増加により増収増益

セキュリティ機器 関連事業

提供先は官民間わず、広い顧客基盤を持つ。
暗号技術・電子透かし・デジタルフォレンジック・サイバーセキュリティ等の技術を活用し、セキュリティ事故を防ぐための防御対策から事後対応までカバーし、さまざまなニーズに対応。海外にも多くのパートナーを持ち、新技術の習得及びスペシャリストの育成に努めている。

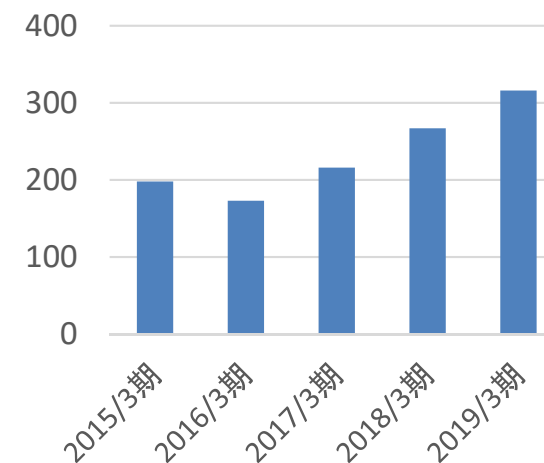
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)



- ✓ デジタルフォレンジック分野において、公的機関への製品販売が好調
セキュリティ事故に係る調査案件、専門技術をサポートするトレーニング案件も増加
- ✓ 技術力向上や高付加価値化を図り、売上・利益ともに順調に推移

(単位：百万円)

| | 前事業年度 | 当事業年度 |
|----------------|---------------|---------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 9,759 | 9,789 |
| 固定資産 | 7,061 | 6,202 |
| 有形固定資産 | 3,506 | 3,492 |
| 無形固定資産 | 151 | 96 |
| 投資その他の資産 | 3,403 | 2,613 |
| 資産合計 | 16,820 | 15,991 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 4,459 | 4,434 |
| 固定負債 | 3,160 | 2,450 |
| 負債合計 | 7,619 | 6,885 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,905 | 2,905 |
| 資本剰余金 | 2,138 | 2,138 |
| 利益剰余金 | 2,615 | 3,249 |
| 自己株式 | △359 | △359 |
| 評価・換算差額等 | 1,898 | 1,170 |
| 新株予約権 | 2 | 2 |
| 純資産合計 | 9,201 | 9,106 |
| 負債純資産合計 | 16,820 | 15,991 |

前事業年度末に比較し828百万円減少

(主な増加理由)

- ・現金及び預金の増加109百万円

(主な減少理由)

- ・投資有価証券の減少910百万円

前事業年度末に比較し734百万円減少

(主な減少理由)

- ・繰延税金負債の減少333百万円

- ・長期借入金の減少290百万円

- ・1年内返済予定の長期借入金の減少116百万円

前事業年度末に比較し94百万円減少

(主な増加理由)

- ・繰越利益剰余金の増加633百万円

(主な減少理由)

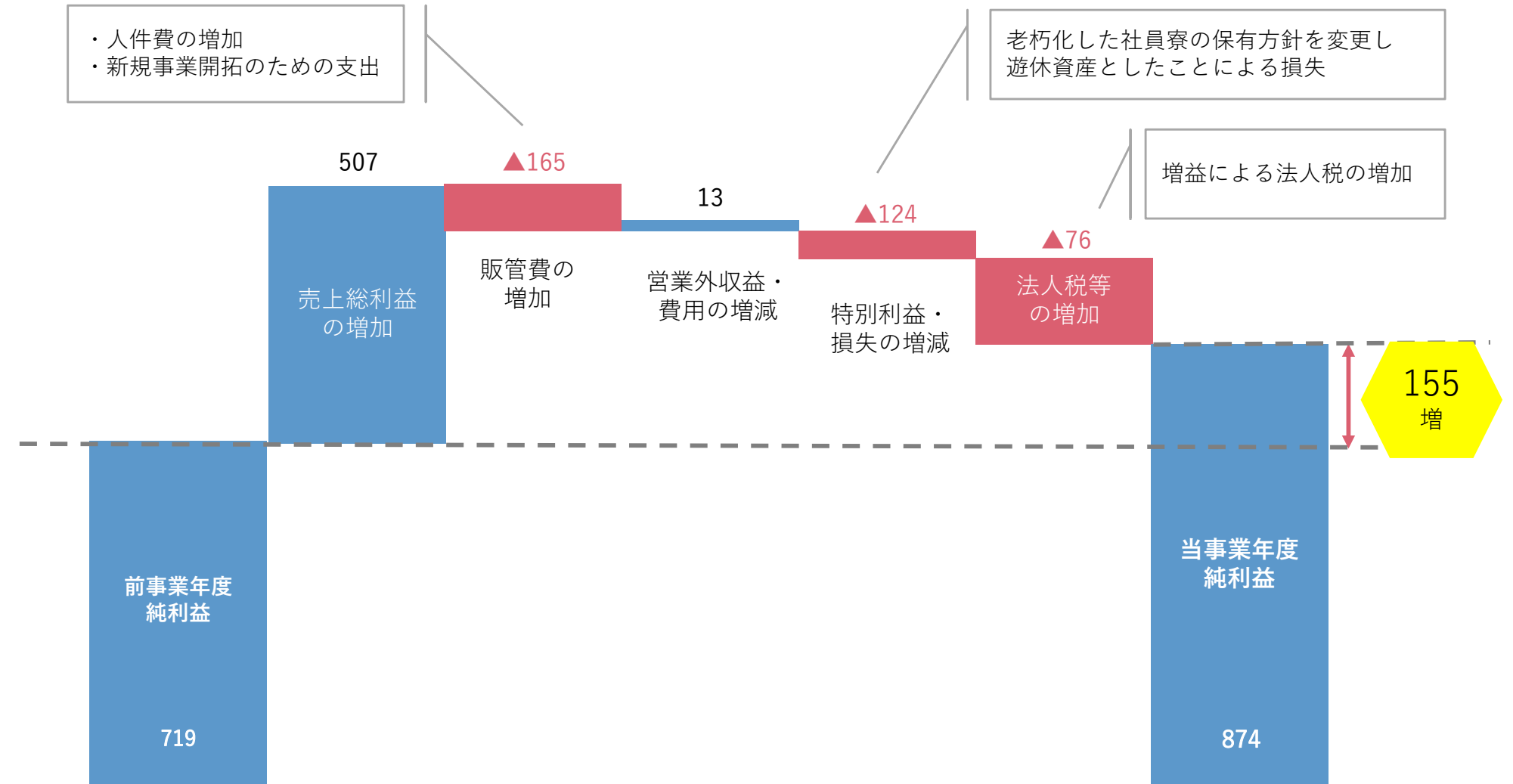
- ・その他有価証券評価差額金の減少728百万円

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(単位：百万円)

| | 前事業年度 | 当事業年度 |
|------------|--------|--------|
| 売上高 | 19,327 | 21,453 |
| 売上原価 | 16,836 | 18,455 |
| 売上総利益 | 2,490 | 2,998 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,465 | 1,630 |
| 営業利益 | 1,025 | 1,368 |
| 営業外収益 | 50 | 48 |
| 営業外費用 | 56 | 40 |
| 経常利益 | 1,019 | 1,375 |
| 特別利益 | 58 | — |
| 特別損失 | 8 | 73 |
| 税引前当期純利益 | 1,070 | 1,301 |
| 法人税等 | 350 | 427 |
| 当期純利益 | 719 | 874 |

(単位：百万円)



(単位：百万円)

| | 前事業年度 | 当事業年度 |
|------------------|-------|-------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 641 | 1,322 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 49 | △395 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 544 | △832 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 1,236 | 94 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,447 | 4,683 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,683 | 4,778 |

1,322百万円の収入

(主な支出)

- ・法人税等の支払額406百万円

(主な収入)

- ・税引前当期純利益1,301百万円
- ・減価償却費143百万円
- ・売上債権の減少額132百万円

395百万円の支出

(主な支出)

- ・投資有価証券の取得による支出138百万円
- ・有形固定資産の取得による支出119百万円
- ・保険積立金の積立による支出59百万円

832百万円の支出

(主な収入)

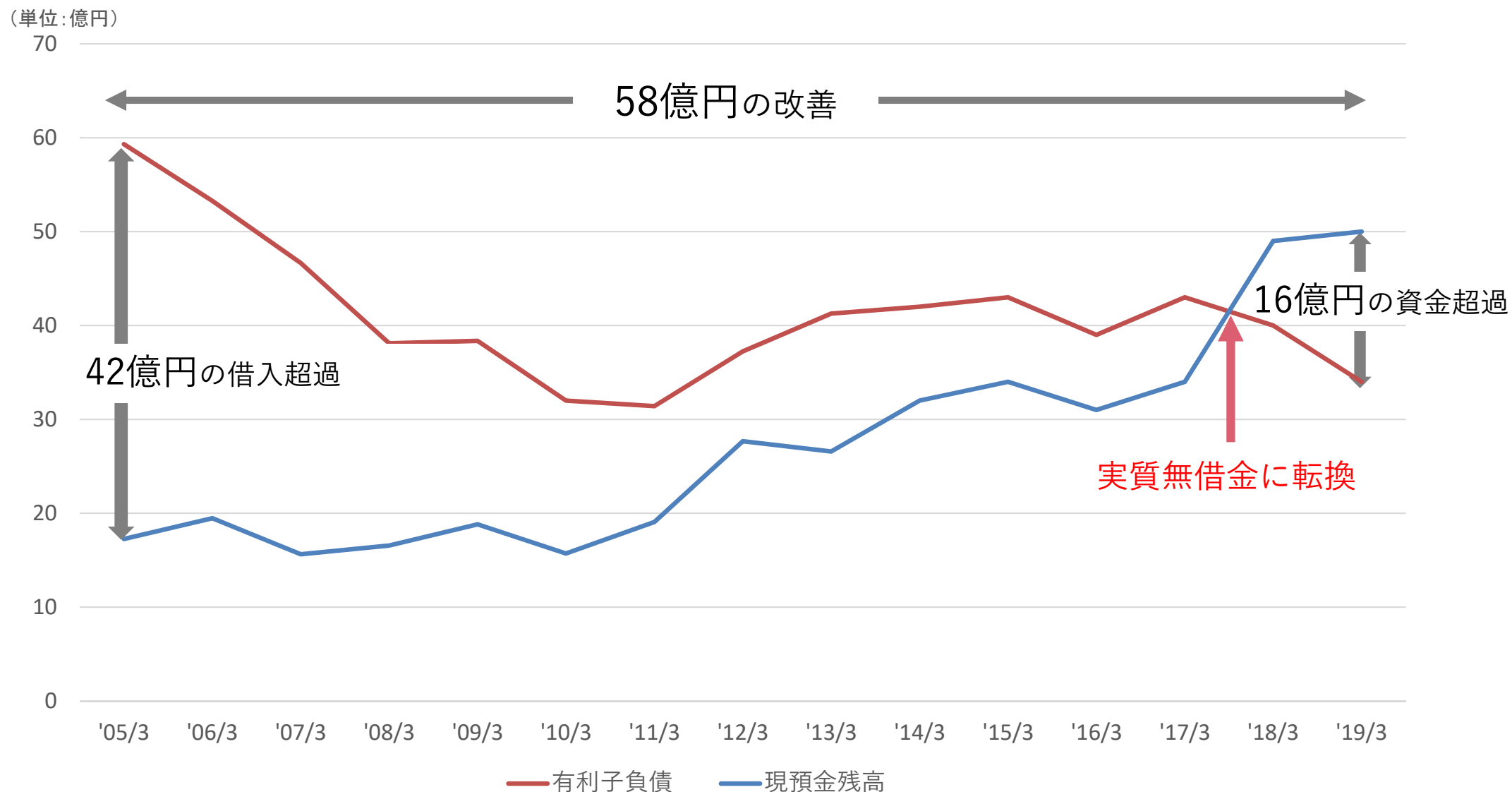
- ・社債の発行による収入591百万円
- ・長期借入れによる収入300百万円

(主な支出)

- ・社債の償還による支出777百万円
- ・長期借入金の返済による支出706百万円

前年度末に比較し94百万円増加

- ✓ 純有利子負債の削減が進み、実質無借金が実現した後も更に改善



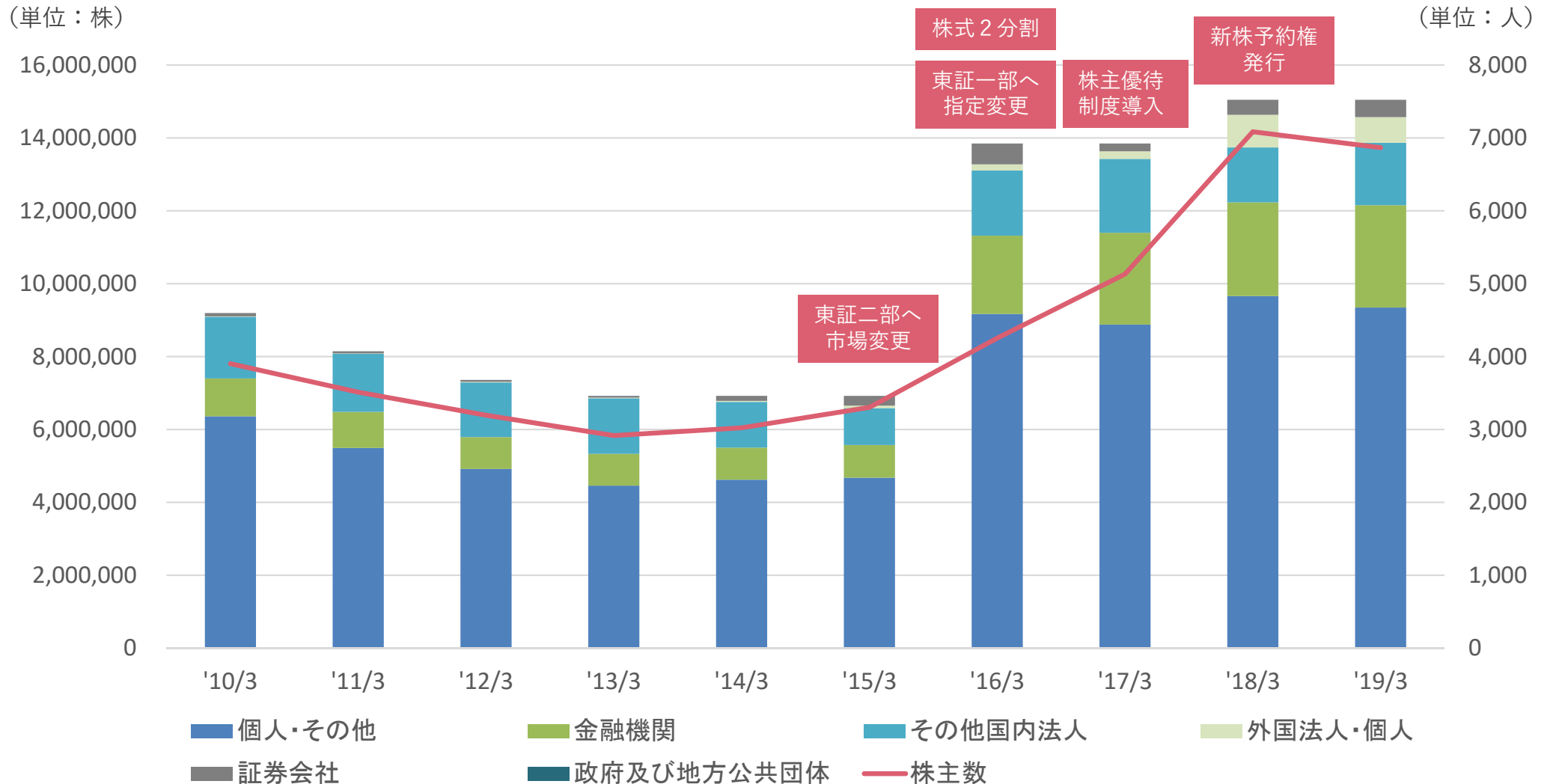
(単位：円)

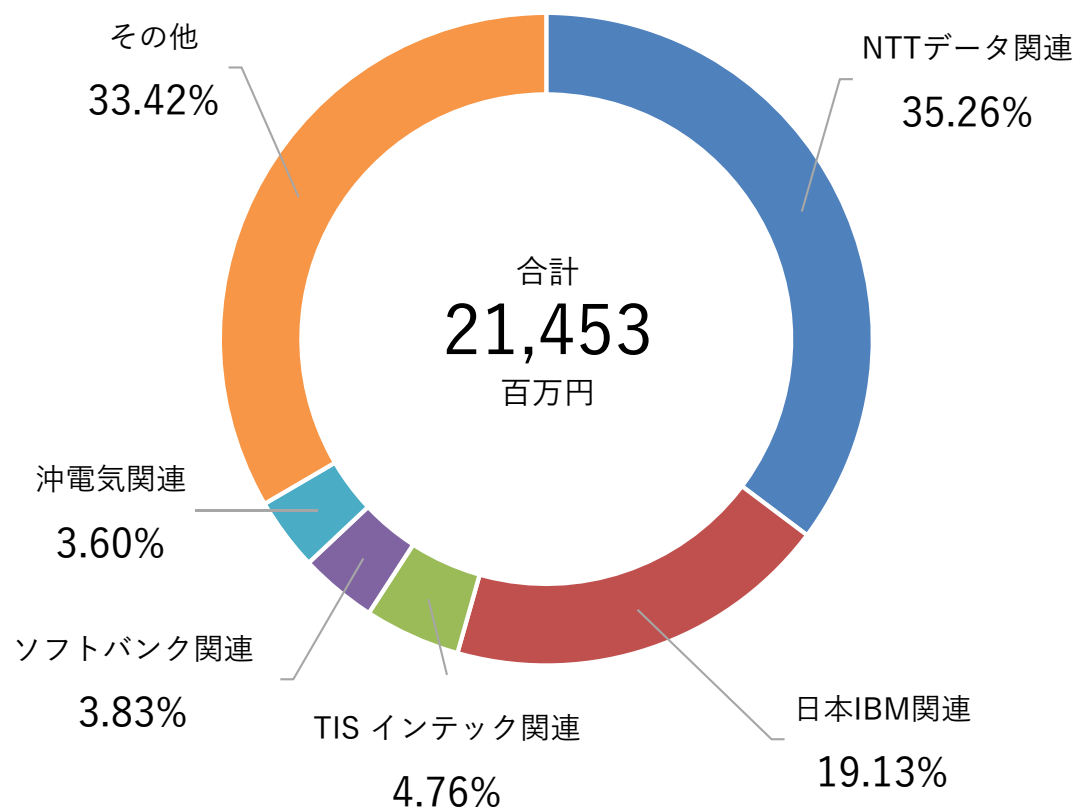


| | 2015/3期 ※1 | 2016/3期 | 2017/3期 | 2018/3期 | 2019/3期 |
|------------|------------|---------|---------|---------|---------|
| 1株当たり当期純利益 | 42.81円 | 53.36円 | 39.83円 | 51.21円 | 58.11円 |
| 1株当たり配当金 | 12.50円 | 16.00円 | 12.50円 | 16.00円 | 20.00円 |
| 配当性向 | 29.2% | 30.0% | 31.4% | 31.2% | 34.4% |

※1 株式分割後（2015年10月1日、普通株式1株→2株）の数値で算定しております。

- ✓ 2019/3末の株主総数は6,867人（2018/3末から218名減）
- ✓ 金融機関・その他国内法人、証券会社の保有割合が増加



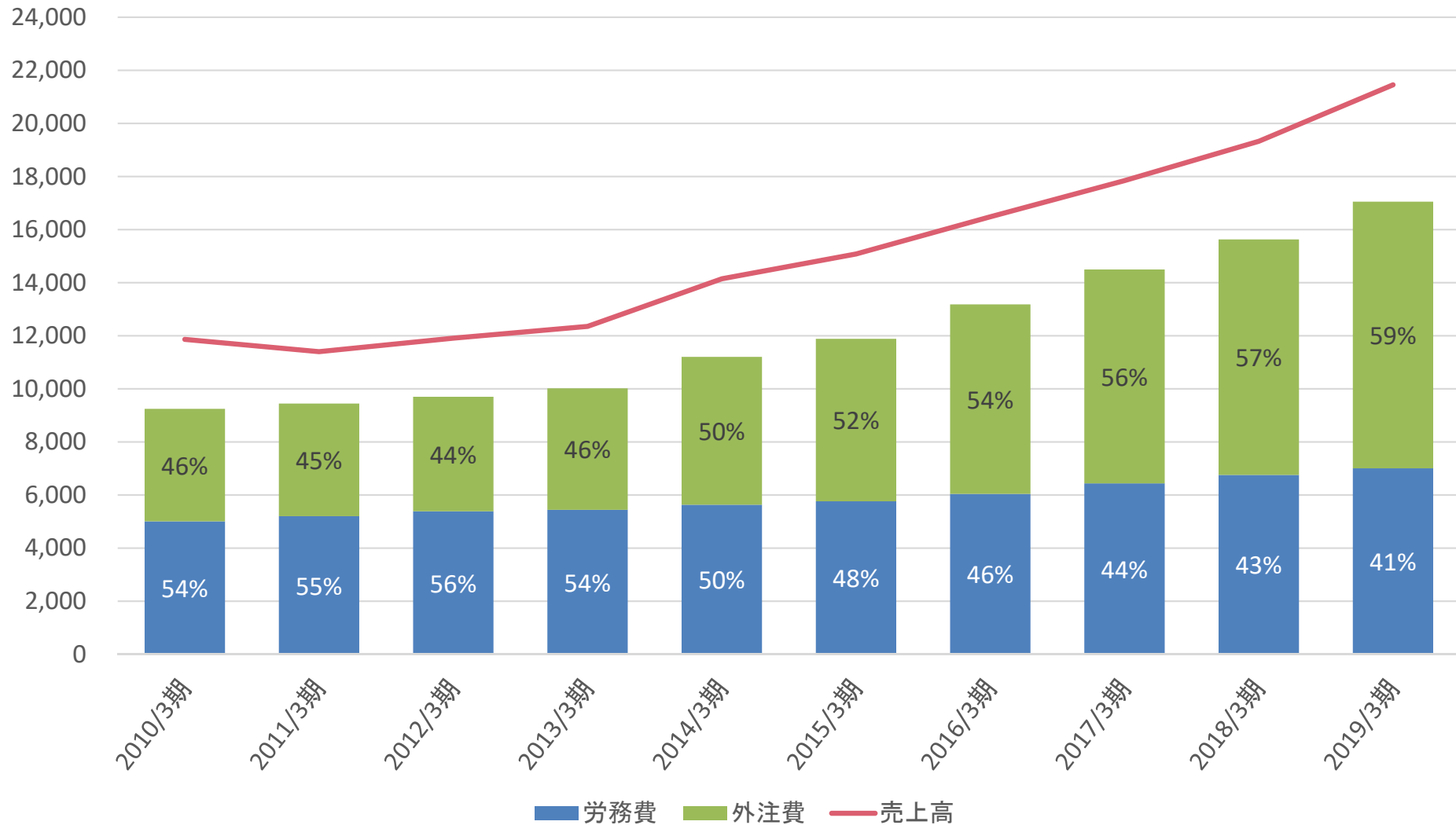


| 顧客名 | 2019/3期 売上高 (百万円) |
|-------------|----------------------|
| NTTデータ関連 | 7,563 |
| 日本IBM関連 | 4,103 |
| TIS インテック関連 | 1,020 |
| ソフトバンク関連 | 821 |
| 沖電気関連 | 774 |
| その他 | 7,169 |
| 合計 | 21,453 |

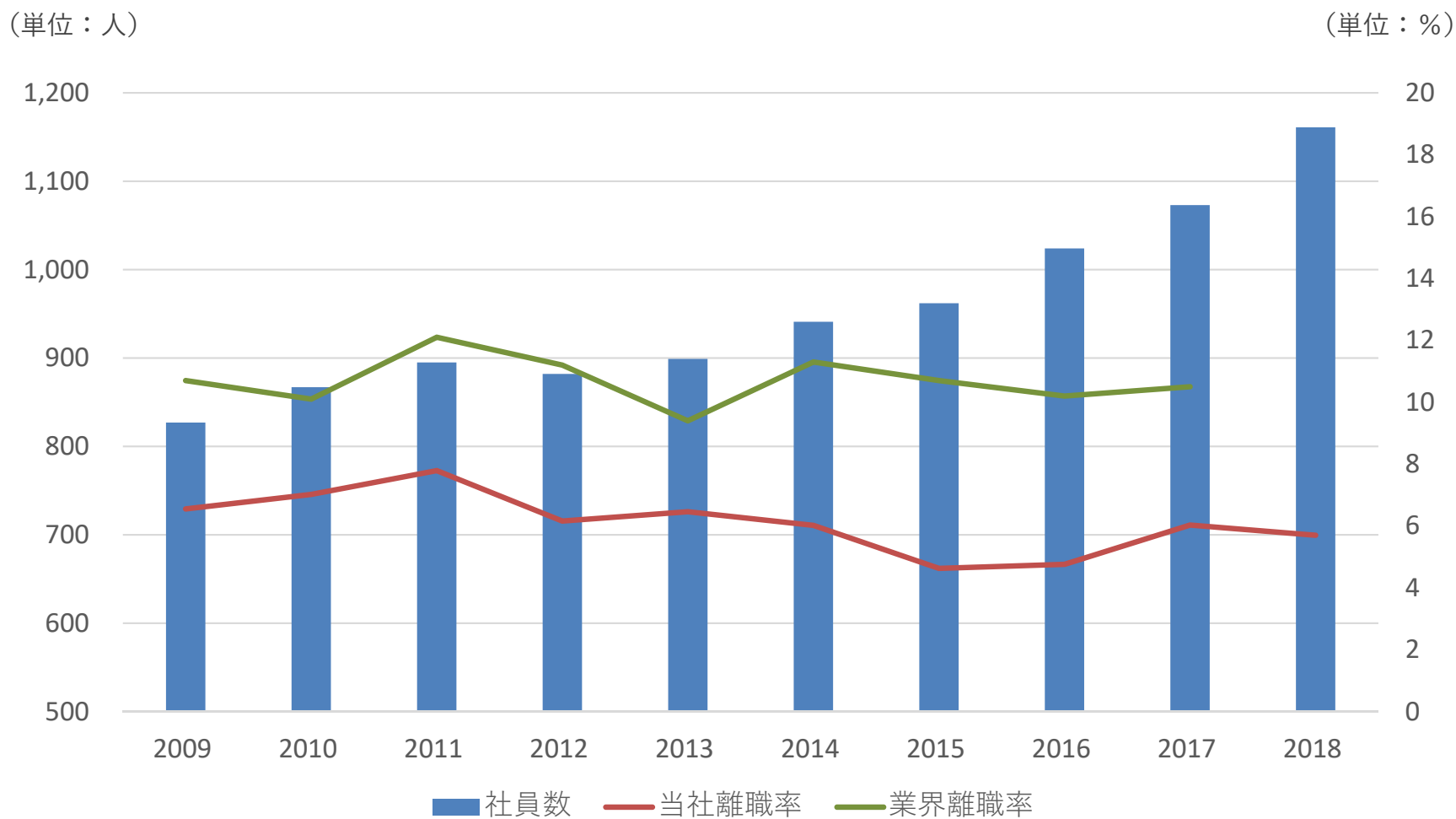
- ✓ TISインテック関連企業様からの受注が伸び、当事業年度は売上高が3番目に多い顧客に
- ✓ ソフトバンク関連企業様からの受注は微減、その他上位4社関連企業様からは全体的に増加傾向

- ✓ 業績や景気動向に関わらず、安定的な採用を継続しつつ、ビジネスパートナーとの関係強化・新規開拓を図ったことが、案件の獲得に貢献

(単位：百万円)



- ✓ 人手不足が顕在化している業界において、採用は安定傾向
- ✓ 業界平均を下回る離職率を継続中



※業界離職率は厚生労働省発表「雇用動向調査結果の概要」を参考にしております。2018年の離職率は未発表のため、掲載していません。

2 2020/3期（第44期）
トップメッセージと業績予想

ドラマを仕掛ける会社であり続けたい

今の会社の姿は、会社がこれまで描いてきたドラマの積み重ねです。
 当社も、これまで従業員がそれぞれの場所で沢山のドラマを仕掛けてきました。
 既存の事業を育てる人、新たな事業を創る人、それぞれがその先のより幸せな
 未来のためにハートを込めてやり遂げてきました。
 その結果、お客様の信頼を得て、事業の拡大に繋がりました。

現在、当社は新たなビジネスを描くドラマも仕掛けています。
 ステークホルダーの皆様にワクワクして頂けるよう、
 これからもドラマを仕掛ける会社で
 あり続けたいと考えています。

代表取締役社長 森 啓一



- ✓ 2019/3期に引き続き、設立以来最高の売上高・利益更新を目指す
- ✓ 配当金は、2019/3期に増配した後の額「20.00円/株」を維持する見込み

| | 2019/3期実績 (百万円) | 2020/3期予想 (百万円) | 対前期増減率 (%) |
|-------|--------------------|--------------------|---------------|
| 売上高 | 21,453 | 21,800 | 1.6 |
| 営業利益 | 1,368 | 1,420 | 3.8 |
| 経常利益 | 1,375 | 1,420 | 3.2 |
| 当期純利益 | 874 | 930 | 6.4 |

| | 2019/3期実績 | 2020/3期予想 |
|----------------|-----------|-----------|
| 1株当たり年間配当金 (円) | 20.00 | 20.00 |
| 配当性向 (%) | 34.4 | 32.4 |

3

<ご参考> トピックス

2018
5/28

VR・AI技術の新たな活用分野を作る 共同出資による新会社「VRaiB」を設立

- ✓ VRやAI、ブロックチェーン等のIT先端技術開発を行う
- ✓ VRaiBでは、さまざまな最先端技術を活用し、産業課題及び社会課題を解決



<http://www.focus-s.com/focus-s/media/180528.pdf>



2018
6/27

ドローンの産業利活用促進に向けた 規制緩和への取組み

- ✓ 一般社団法人ドローン操縦士協会と、双方の知識・経験・資源を提供し合いドローンの利活用拡大に向け、規制の緩和を目指す



<http://www.focus-s.com/focus-s/media/20180627.pdf>



2018
11/2

茨城県笠間市と無人航空機活用等による 連携協力協定を締結

- ✓ ドローンの活用等を通して地域の活性化及び市民サービスの向上に貢献



(調印式の様子)

協働内容

- 1 地域産業の振興に関すること
- 2 無人航空機活用分野での調査・研究に関すること
- 3 無人航空機の普及、啓発及び利活用に関すること
- 4 地域の安全・安心・災害対策に関すること
- 5 その他先進的な情報通信技術の活用が貢献できる地域活性化及び市民サービスの向上に関すること

<http://www.focus-s.com/focus-s/media/181102.pdf>



2018
11/5

FRONTEO社製品への開発協力 「人工知能による特許調査・分析システム」

- ✓ 今後もFRONTEO社の一部製品群の開発に携わる予定
- ✓ 人材育成等の投資も視野に、AI関連事業の更なる拡大を図る

Patent Explorer 19

人工知能による特許調査・分析システム

 Focus Systems

<豊富なWebアプリケーション開発技術を活かした支援>

<AIスキルを持つ当社の人材>

一般社団法人
ディープラーニング
協会検定資格
保有者

データ解析士

Python(※)
開発経験者



(※)Python・・・AIやデータ解析等の分野で使われているプログラム言語

<http://www.focus-s.com/focus-s/media/181105.pdf>



2019
2/18

UiPath社と開発リソースパートナー契約を締結 RPAで人的資源を創出し、人材不足を解消

- ✓ 高付加価値化へのシフト、現業務の省力化・効率化は日増しに重要性がUP
- ✓ RPAで定型業務の自動化による効率化を実現

RPA

(Robotic Process Automation)

×



Focus Systems

定型業務の自動化による効率化により
ロボットでは実現できない高付加価値な
業務へ人的資源をシフトさせるソリューション



お客様の新たなビジネスチャンスを創出

将来的には、AI技術とも組み合わせ、より進化した業務プロセス改善ソリューションを提供

<http://www.focus-s.com/focus-s/media/190218-1.pdf>



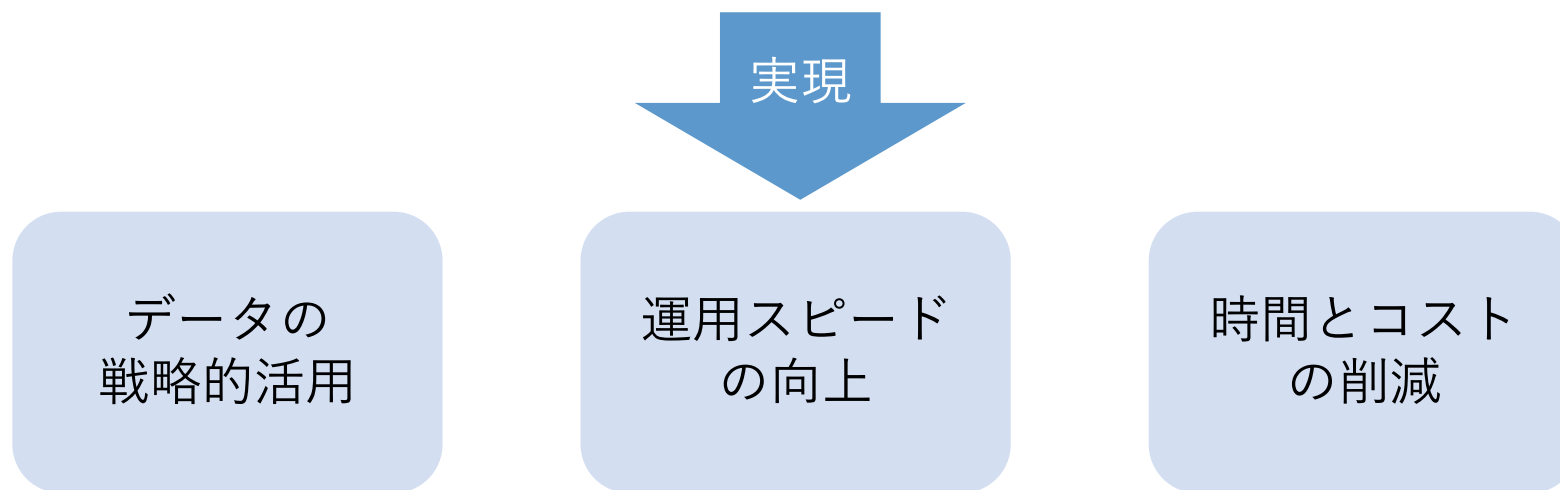
2019
3/11

エンタープライズ NoSQLソリューション提供開始 ビッグデータの効率的活用から戦略的活用へ

- ✓ NoSQLデータベースのパイオニア「MarkLogic社」とパートナー契約締結
- ✓ お客様が保有するデータの価値と企業価値を高める

エンタープライズ向け業務システムのコンサルティング・システム導入で培った

各産業における業務知識・ノウハウ・顧客基盤を活用



<http://www.focus-s.com/focus-s/media/190311.pdf>



2019
3/26

筑波大学と、三次電池の実装に関する共同研究 発電機能を有した低コストで安全な新しい電池

- ✓ 三次電池（温度差による発電機能を搭載した電池）の実装を目指す
- ✓ 使い捨て電池や充電電池の「交換」「破棄」といった問題を解決

| | 従来の一次電池または二次電池 | 三次電池 |
|------|---|---|
| 初期費用 | <ul style="list-style-type: none"> ・電池寿命を考慮したシステム設計 ・新品電池の適正な調達 ・IoT機器への新品電池のセット ・IoT機器の初期設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・三次電池の調達 ・IoT機器への三次電池のセット ・IoT機器の初期設置 |
| 運用費用 | <ul style="list-style-type: none"> ・寿命や残量に合わせた交換計画 ・新たな電池の適正な調達や充電計画 ・IoT機器の電池交換 ・電池交換後の再設置 ・使用不可電池の廃棄 | <ul style="list-style-type: none"> ・電池故障時の交換 |

コスト
比較

「電池交換を極小化した環境にやさしい低コストIoTシステム」の開発も可能に

<http://www.focus-s.com/focus-s/media/190326.pdf>



4

<ご参考> 当社の概要

| | |
|------|---|
| 社名 | 株式会社フォーカスシステムズ |
| 事業内容 | ソフトウェア開発及びITサービスの提供 セキュリティ製品の開発、販売、サービスの提供 |
| 本社 | 東京都品川区東五反田2-7-8 フォーカス五反田ビル |
| 事業拠点 | 東京、大阪、名古屋 |
| 資本金 | 29億500万円 |
| 上場市場 | 東証第一部 (証券コード：4662) |
| 従業員 | 1,161名 (2019年3月31日現在) |

- 1977 (S52) ソフトウェア開発を目的として、株式会社フォーカスシステムズを設立
- 1978 (S53) 沖電気工業(株)と取引を開始し、電子交換機のソフトウェア開発業務開始
- 1988 (S63) 日本電信電話(株) (現 株NTTデータ) と取引を開始し、官公庁向けシステムの受託開発開始
- 1996 (H8) 日本証券業協会に株式を店頭登録 (現 東京証券取引所JASDAQスタンダード)
- 1997 (H9) 日本IBM(株)と取引を開始し、システム保守・運用/インフラ技術支援業務の受託開始
- 1999 (H11) セキュリティ部門の受託開始 (情報セキュリティ事業開始)
- 2004 (H16) 情報セキュリティでの新分野デジタルフォレンジック製品販売開始
- 2015 (H27) 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
- 2016 (H28) 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定替え

フォーカスシステムズの技術は、さまざまなシーンで社会を支えています。

サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に対する防御や事後対応、
ハイテク犯罪調査ソリューション

金融機関向けシステム

メガバンク向け顧客管理
システムの開発や新銀行の基盤構築

医療事務システム

診療を受けた時の診療報酬の
電算処理システムの開発

社会保険システム

全国の年金事務所をつなぐ
年金制度を支えるシステムの開発

Web アプリケーション

システム共通基盤 (intra-mart 等)、ERP パッケージ
を用いた、ソリューション提案から開発、保守運用

通信制御システム

携帯電話基地局、ルータやゲート
ウェイなど、通信制御装置の
ファームウェアの開発



電子行政システム

行政サービスの電子化に伴う
システムの開発

自動車登録システム

車、バイク等の所有者や車検状況を
管理するシステムの開発

暗号技術

電子情報を漏洩や改ざん
などのリスクから守る
ための次世代暗号技術

航空管制システム

管制官が使用する、いわば
「空の信号機」システムの開発



貿易流通システム

輸出入に関する手続きを
処理するシステムの開発

Beacon 開発

Bluetooth® Smart 規格に準拠した
薄型ウェアラブルデバイスの製造、
ソリューション提案からアプリケー
ション開発

RPA

ロボットによる業務自動化により、
生産効率を上げるソリューション

福祉介護システム

要介護者が受けている介護内容を
管理するシステムの開発

 3つのFOCUS1st FOCUSシステム
インテグレーション

情報システムの導入に際し、お客様の業務目的に応じた情報システムの企画・開発から、運用までを総合的に行います。

2nd FOCUS

ITサービス

最先端のIT技術を活用し、お客様の業務システムやIT環境の最適化や問題解決を支援し、ITから得られる価値を高めます。

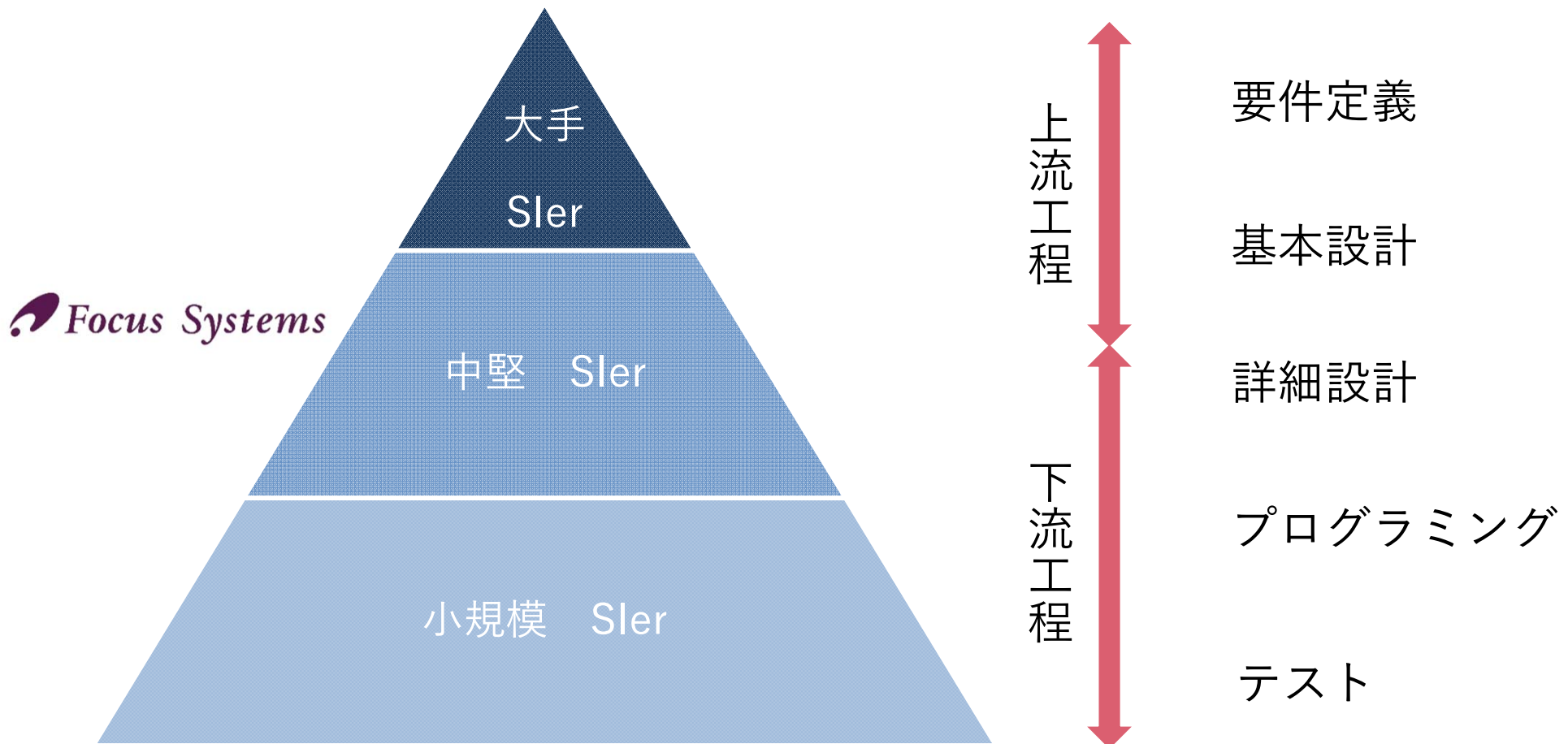
3rd FOCUS

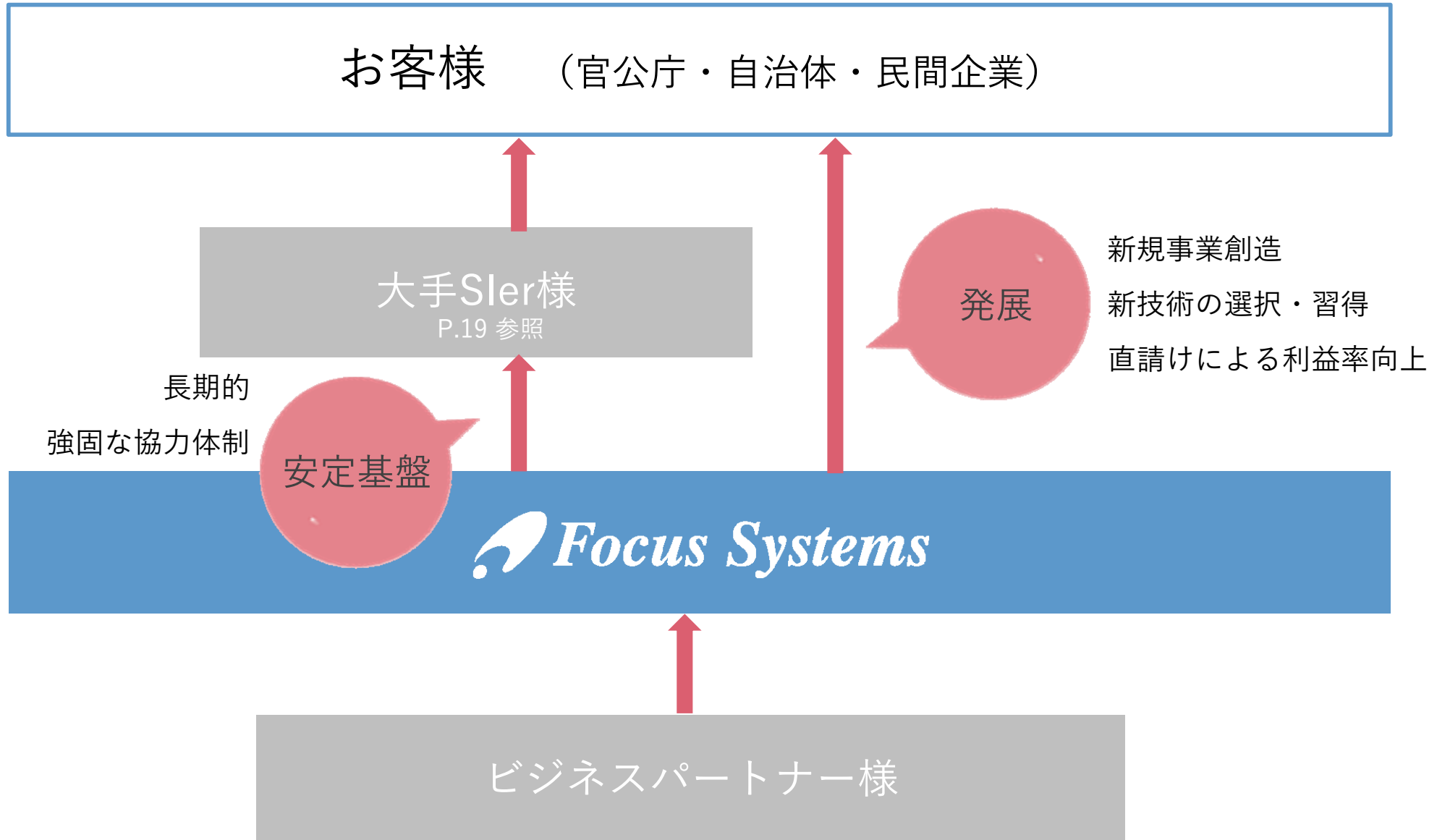
情報セキュリティ

フォレンジック、暗号、電子透かし等の情報セキュリティ技術で「情報リスク」をコントロールします。

フォーカスシステムズは独立系のシステムインテグレーター (SI)

工程は、上流から下流まで、プロジェクトは小規模から大規模まで
(稼働後運用・保守含む)





公共 関連事業

当社の安定基盤

- ・ 長期的に継続する多数のシステムに参画
- ・ 定期的なライフサイクル（法改正対応／システム更改）
- ・ 長年培ってきた深い専門知識と豊富な実績

民間 関連事業

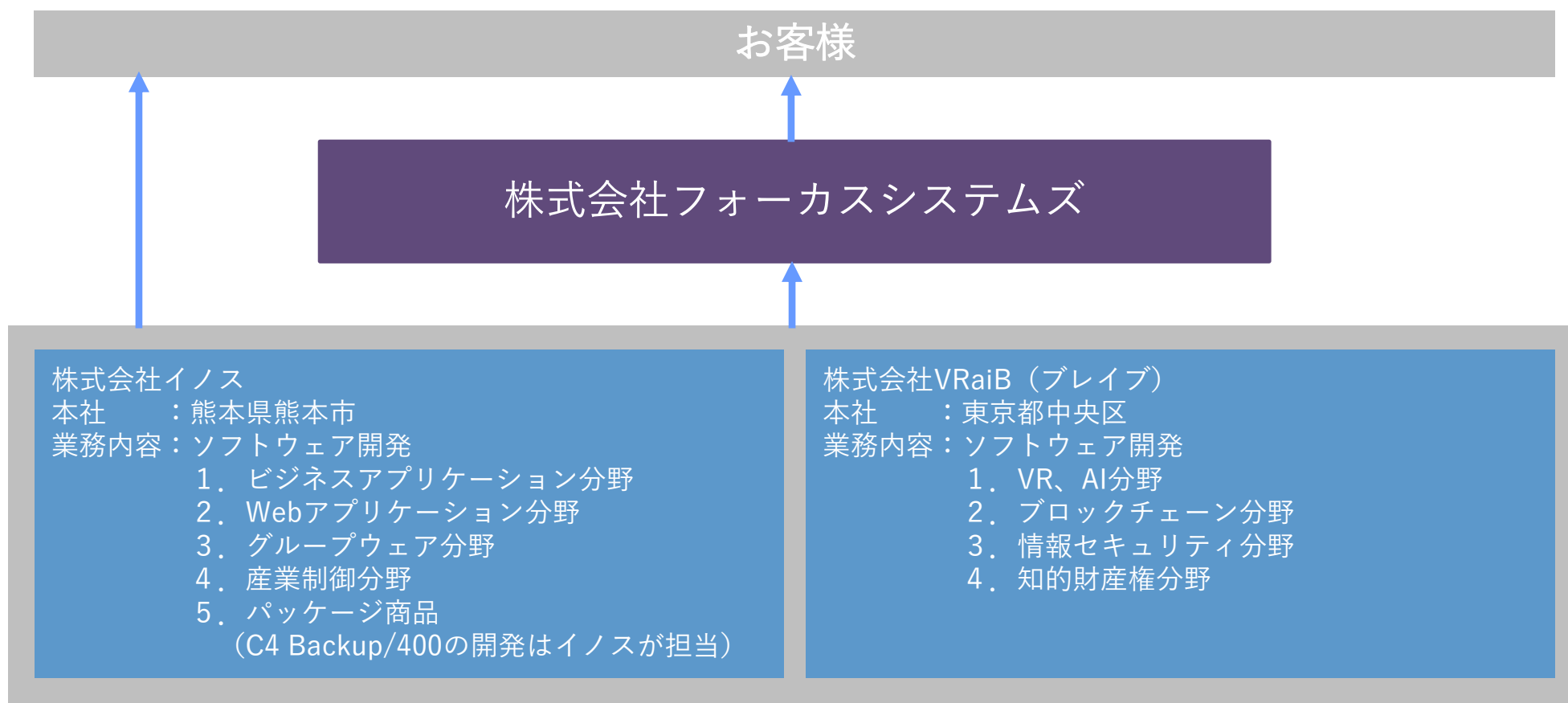
事業の発展拡大

- ・ 幅広いビジネス領域
（スマートフォン・自動車・クラウド・AI・RPA・業務アプリ他）
- ・ 人口減少時代における「ICTを活用した生産性向上」の流れにより拡大が続く市場

セキュリティ 機器関連事業

高付加価値な技術

- ・ 希少価値の高い「デジタルフォレンジック」技術の保有
- ・ 自社技術「暗号」「電子透かし」の保有
- ・ 防衛省様・警察庁様・金融庁様等、中央省庁にも多数導入



関連会社の状況 (2019年3月)

| 社名 | 持分 (%) | 売上高 (千円) | 経常利益 (千円) | 純利益 (千円) |
|-----------|--------|-----------|-----------|----------|
| 株式会社イノス | 20.0 | 1,151,825 | 106,789 | 95,508 |
| 株式会社VRaiB | 20.0 | 84,243 | 3,587 | 3,587 |

✂️ ワークライフバランス

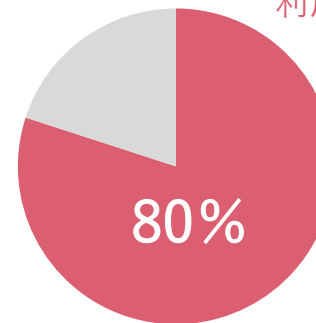
1 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度
短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能
※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可

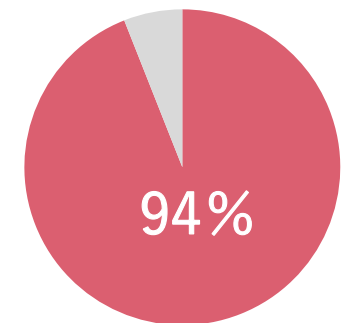
くるみん（次世代育成支援）
認定



育児休業あけ
短日・短時間勤務制度
利用率



育児休業取得した社員の
復職率



※2019年3月末日時点

2 ジョブリターン制度（再雇用制度）

…ライフイベント（結婚・出産・育児）や
キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
10年以内であれば再雇用OK

3 定時退社日

…毎週水曜日を定時退社日に設定。所定外労働時間を削減



ダイバーシティ

1 職域創成

- ・・・障害者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。障害者雇用版広報紙も定期発行。現在は、事務系職域の開拓も推進。



2 女性社員交流会

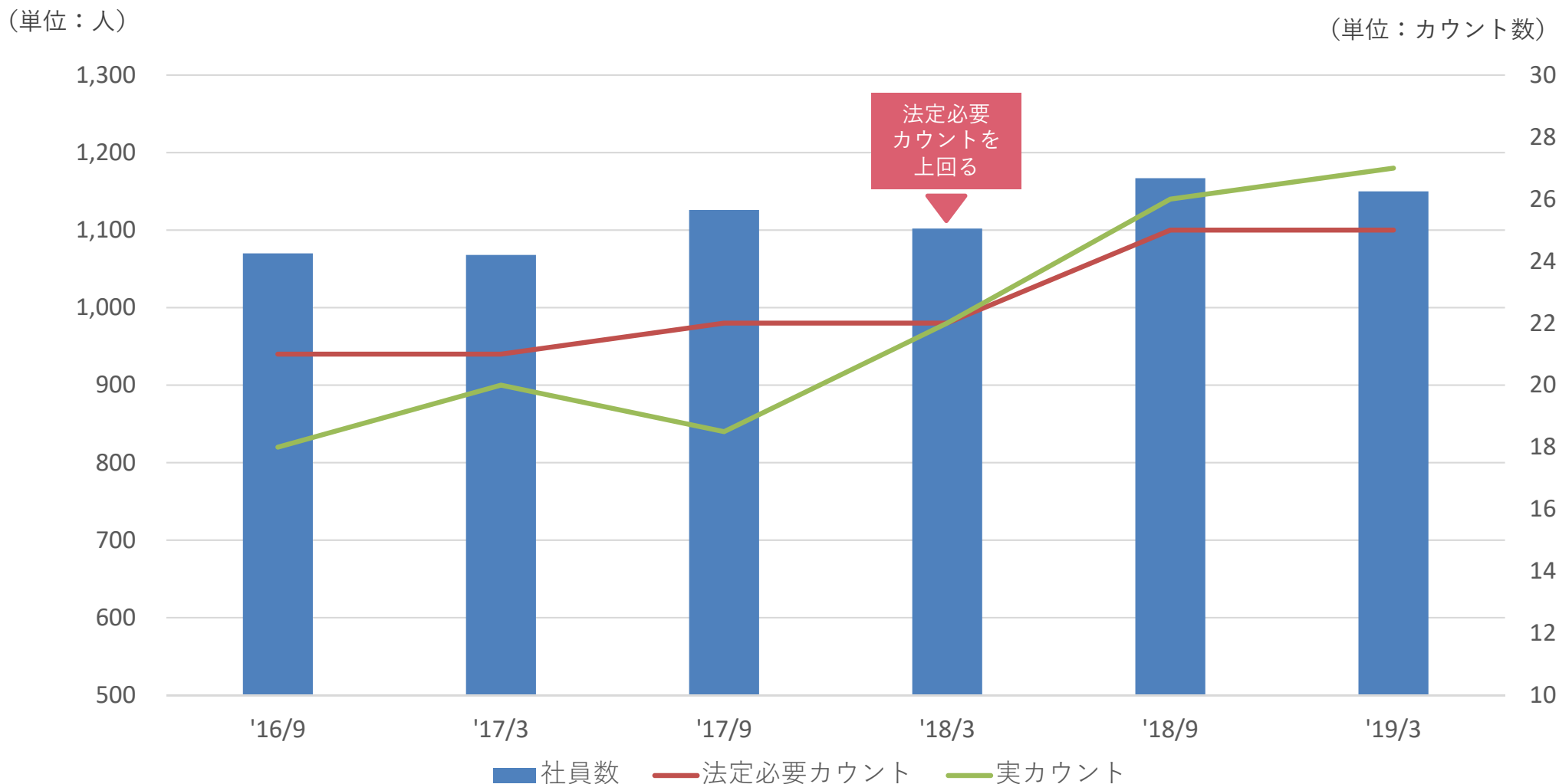
- ・・・若年層の女性を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施。



えるぼし（女性活躍推進）

2016年4月に、女性活躍推進に関する取組みが認められ、最上位（3段階目）の認定を受ける

- ✓ 農業及び事務の職域開拓を図り、多くの障害者が長く働ける環境を整備
- ✓ 障害者と働くことへの理解を促進する社内研修を実施し、受入れ体制を強化



1 部活動支援

…社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施。
現在、8つの部活に約100名が所属。



2 健康管理セミナー

…生活習慣改善と肥満予防のための食事改善セミナーや、睡眠時無呼吸症候群の予防・改善など、テーマ別のセミナーを実施。



2020/3期は
「今日からはじめるウォーキング」
セミナーも実施予定

3 オンライン禁煙プログラム

…パソコンやスマホ・タブレットで受診できるオンライン通院、禁煙補助薬の処方
を組合わせた禁煙治療プログラムを導入。禁煙に取り組む社員をサポート。

1 マスコットキャラクター 「ふくえさん」

フォーカスシステムズや
情報システムの世界を身近に感じて頂くよう
ビジネスのこと、業績のこと、社員のことなど
ふくえさんを通してさまざまな情報を発信



2 オリジナルマンガ 「フォレンジック刑事」

当社が売り上げを伸ばしている
デジタルフォレンジック分野について
幅広いステークホルダーの方々に
理解を深めて頂くためのコンテンツ



＼ LINESTOREで検索! ／

ふくえさん



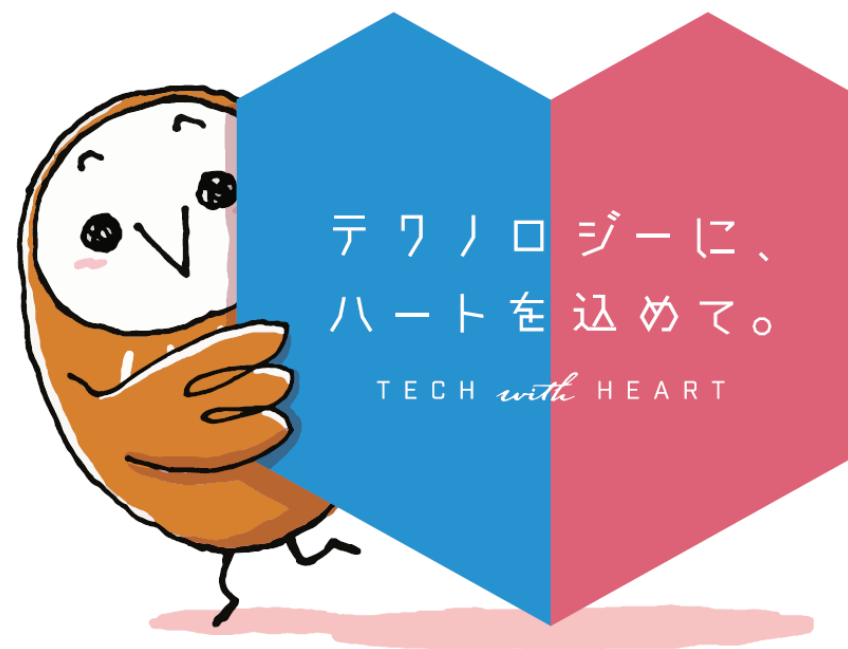
WEBマガジンで全話掲載中

| 非連結通期 | 2015/3期 | 2016/3期 | 2017/3期 | 2018/3期 ※2 | 2019/3期 ※2 |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 売上高（千円） | 15,081,738 | 16,482,792 | 17,846,896 | 19,327,344 | 21,453,829 |
| 営業利益（千円） | 940,310 | 953,356 | 743,538 | 1,025,541 | 1,368,284 |
| 経常利益（千円） | 897,205 | 950,301 | 731,331 | 1,019,522 | 1,375,563 |
| 当期純利益（千円） | 592,742 | 738,841 | 551,571 | 719,243 | 874,282 |
| 資本金（千円） | 2,905,422 | 2,905,422 | 2,905,422 | 2,905,422 | 2,905,422 |
| 発行株式総数（千株）※1 | 8,146 | 16,292 | 16,292 | 16,292 | 16,292 |
| 純資産額（千円） | 6,769,094 | 7,415,953 | 7,258,918 | 9,201,228 | 9,106,539 |
| 総資産額（千円） | 14,340,827 | 14,936,873 | 14,567,320 | 16,820,805 | 15,991,992 |
| 1株当たり純資産額（円）※1 | 488.86 | 535.58 | 524.24 | 611.34 | 605.04 |
| 1株当たり配当額（円）※1 | 12.50 | 16.00 | 12.50 | 16.00 | 20.00 |
| 1株当たり当期純利益（円）※1 | 42.81 | 53.36 | 39.83 | 51.21 | 58.11 |
| 自己資本比率（%） | 47.2 | 49.6 | 49.8 | 54.7 | 56.9 |
| 自己資本利益率（%） | 10.0 | 10.4 | 7.5 | 8.7 | 9.6 |
| 配当性向（%） | 29.2 | 30.0 | 31.4 | 31.2 | 34.4 |
| 従業員数（人） | 962 | 1,024 | 1,073 | 1,116 | 1,161 |
| 株価 年度高値（円）※1 | 1,210 | 888 | 634 | 1,350 | 1,153 |
| 株価 年度安値（円）※1 | 540 | 340 | 412 | 503 | 774 |

※1 株式分割後（2015年10月1日、普通株式1株→2株）の数値で算定しております。

※2 「総資産額（千円）」及び「自己資本比率（%）」は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を適用した後の数値となっております。

今後とも、ご指導ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。



本資料は、2019年3月末日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2019年3月末日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。